

窯業・土石製品製造業

テーカー名古屋 人形製陶株式会社

てーけーなごやにんぎょうせいとう
(瀬戸市)

レースドールの仕上げ・着せ付け職人

オトメゴコロをくすぐるポイント♡

人気キャラクターの陶磁器人形をつくることできる&
人形のドレスをデザインしたり、オリジナルキャラクターを提案したりできる

風に舞うドレスをイメージした作業で 一つひとつの人形に個性が宿る

テーケー名古屋人形製陶(株)は、日本で唯一の陶製レースドールメーカーです。私がここで働くことになったのは、いまと違う仕事をしていたときに、陶芸教室に通っていたのがきっかけでした。前の会社を退職後、愛知県の窯業高等技術専門学校という職業訓練校で技術や知識を学んで職人になりました。いまは主に人形のドレスにレースを付ける「着せ付け」という作業をしています。私が着せ付けの作業でこだわっているのは、動いていない人形だけけれど、ドレスが風に舞ってふわっとするイメージを思い描きながらレースをつけること。そうすることで一つひとつの人形に個性が表れると思うからです。最初はただドロドロだった泥しょう(※)が、型に入って焼かれ、色やレースが付き、やがてキレイな人形として生まれ変わることには感動します。職人にとって技術は大切な財産。技術は努力してこそ身に付くものなので、もっと向上できるよう努力し続けます。

※スライムとも呼ばれる、粘り気の強い、水分を多く含んだ泥

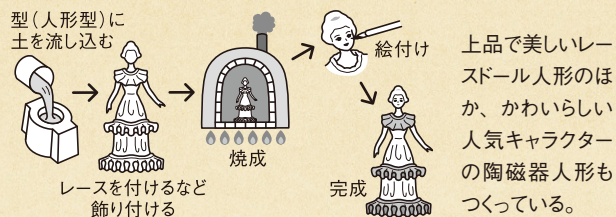
ご本人の希望により氏名を掲載していません。



ココにときめく!

ドロドロだった泥しょうが、職人の技で美しい人形に生まれ変わることに感動!

図説あいちのモノづくり 10



モノづくり女子を支えるカイシャ

力仕事は男子がサポート 細かい作業は女子職人が大活躍

10年前から若い女子職人を積極的に採用し、いまは11名の職人のうち女子が9名。鑄込みなど重いものを持つ作業は男子が担当しますが、絵付けや着せ付けなどでは細かい作業が得意な女子職人たちが活躍しています。世界一の職人をめざして日々努力してくれています。



代表取締役
加藤 範主さん